

事業所における 自己評価結果（公表）

公表：令和 6 年 1 月 1 日

事業所名： コペルプラスうるま市役所教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7		必要な面積に、ゆとりを持ったスペースを確保しています。	子供達同士がぶつかったりしないように、職員全員で安全に過ごせるよう配慮しています。
	②	職員の配置数は適切である	7		ゆとりを持った人数により職員が休みやすい環境を構築しています。	利用児童の増加が見込める際には配置数を増やす等の対応をしています。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	6	1	その都度、より良い環境となるよう改良や改築等を行っています。	現時点では車椅子の利用児はいませんが、バリアフリーについてスロープ等の設置を検討する必要があります。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	7		毎日の清掃により清潔を保っています。	
業務改善	⑤	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	7		療育については、十分行えています。	経営面から見た、より明確な目標設定も必要と思われます。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7		結果を周知し、改善に繋がっています。	
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7		ホームページに公開しています。	保護者様からご指摘いただいた点を真摯に受け止め、早急に改善できるようにしていきます。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	7		対象の事案はまだありませんが、第三者委員会は設置しています。	

	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7		月に1回、本部や外部の講習会・研修会受講により職員の質を高めています。	
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	7		保護者のニーズを職員全員で分析し計画書を作成しています。	支援計画の作成を丁寧に行い、支援の質を高めていきます。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7			
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	7			研修でガイドラインの読み合わせを行い、職員一人ひとりの自己研鑽に努めます。

	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	7		定期的に支援会議を行い、計画を見直しながら療育を実施。常に計画に沿った支援を心がけて実施しています。	
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	7		管理者だけでなく、職員含めて立案しています。	
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7		指導員同士で共有しながらプログラム内容を工夫しています。	
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	7		児童の特性や必要性に応じて、個別と集団を組み合わせています。	

	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7		常に共有するよう心掛けています。	シフトにより休まれていた職員への情報伝達や、個々の役割分担をより明確なものにする必要があります。	
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7		常に共有するよう心掛けています。	シフトにより休まれていた職員への情報伝達や、個々の役割分担をより明確なものにする必要があります。	
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7		十分な記録を取っています。		
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	7		定期的に会議を設け、支援の計画を見直しています。		
	関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7		主に児発管が参加しています。	
		㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	7		保護者からの要望や、療育を行う上での必要性があれば連携を取っています。	必要に応じて進めていきます。
㉓		(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている			医療ケア児の児童がいません。		
㉔		(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている			医療ケア児の児童がいません。		
㉕		移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	7		必要に応じて、保育所や幼稚園との情報共有を行っています。		
㉖		移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6	1		必要性や保護者様の要望に応じて、情報共有を行っています。	

	⑳	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	7		年に6回ある児童発達支援センターの研修に参加したり、その資料を見てレポート提出を行っています。	
	㉑	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		7	現在、交流会は行っていません。	弊社が運営する保育園に訪問し、療育の紹介を行っています。

	㉒	(自立支援) 協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	1	6		機会があれば参加したいと思います。
	㉓	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7		毎回の療育後、フィードバックや支援会議で状況を共有しています。	
	㉔	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている		7	『べるくんだより』を通して、保護者様へ情報をお伝えしています。	ペアトレの大切さを再認識しながら、保護者支援(ペアトレ)を計画し、準備が出来次第、始めていきます。
保護者への説明責任等	㉕	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7		契約時に説明をしたり、いつでも見られるように掲示しています。	
	㉖	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	7		適切な支援が行えるよう、十分な分析を行ったうえで計画を立て、同意を得ています。	
	㉗	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7		相談を受けた場合は指導員と共有し、支援に活かしています。	

③⑤	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	2	5	個別支援により現在行っておりません。	
③⑥	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	7		常に児童、保護者様の様子を注視し、相談や要望について職員全員で共有し、迅速に対応できるよう心掛けています。	
③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7		『べるくんだより』を作成し、LINE や紙面上で配信しています。また、教室の様子をInstagramやブログで発信もしています。	見たことのない保護者様へ再度、案内を行い、周知していきます。
③⑧	個人情報の取扱いに十分注意している	7		個人情報が入り込まないよう、マニュアルに沿って十分注意しています。	
③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7		毎回療育後のフィードバックにより、情報伝達を行っています。	
④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2	5	個別療育の性質上、地域住民を招待することはできないが保護者のご家族が様子を見に来られることはあります。	保護者様の要望や希望に応じて、けん

非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	7		各種マニュアルを完備し、訓練計画を立てています。	
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7		月に2回は避難訓練を実施しております。	
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	7		利用前の聞き取りにより確認しています。	
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている			食事の提供はないので不要です。	
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7		内容を共有し、後日確認できるように記録を保管しています。	
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7		行政や本部が行う研修会に参加しています。	事業所内研修も充実させたいと考えております。
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	7		十分な説明と、各種資料への記載により明確にしています。	

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。